

科目名 Course Name	高齢者福祉 I Aged-welfare I			ナンバリング No.	I1-002		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養棟3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP4, DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>高齢者の社会的・身体的・精神的変化を学習し、高齢者を一人の人間として理解する。高齢者福祉制度の発展、法規の成り立ち、特に介護保険制度の仕組みとサービスの提供方法について学ぶ。</p> <p>【授業終了時の達成課題(到達目標)】</p> <p>①高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者の存在を確認できるようにする。                  ②高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について説明できるようにする。                  ③高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について説明できるようにする。                  ④介護保険制度のしくみとサービスを理解し、利用の流れを説明できるようにする。</p>						
授業の方法	テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とするが、理解を深めるため、グループワークやディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料と C-Learning にリアクションを入力させ、授業の振り返りと知識定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	高齢者の特性を理解し、高齢者をとりまく社会情勢の変化に対応した態度を修得する。					
	L03	高齢者を支援する専門職の役割を理解し、要介護高齢者に対する具体的なサービス提供ができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/ 参考図書	教科書:『高齢者福祉』杉本敏夫監修・編著/ミネルヴァ書房						
履修上の留意点 やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求められることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。		30		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。			70	
その他					
合 計			30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等)。 高齢者の定義と特性①(高齢者の定義)
	事前・事後学習	事前:教科書を購入し、目次を閲覧しておく 事後:シラバスを再度読んでおく
2	授業内容	高齢者の定義と特性②(社会的理解、身体的理解、精神的理解)
	事前・事後学習	事前:自身の高齢者のイメージについて整理おいてください 事後:高齢者の特性に関する配布プリントに補足をし、まとめておく
3	授業内容	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境①(高齢者の生活実態)
	事前・事後学習	事前:高齢者の生活に関するデータから特徴を読み取りまとめておく 事後:高齢者の生活における課題についてまとめておく
4	授業内容	高齢者福祉の歴史(高齢者福祉の理念、高齢者観の変遷、高齢者福祉制度の発展過程)
	事前・事後学習	事前:高齢者福祉史に関する事前課題を実施する 事後:配布プリントに補足をし、まとめておく
5	授業内容	高齢者に対する法制度①(介護保険法と介護保険制度の概要)
	事前・事後学習	事前:介護保険法の条文を調べ、読んでおく 事後:居住地の介護保険制度パンフレットを取り寄せる
6	授業内容	高齢者に対する法制度②(介護保険制度の保険者と被保険者、保険料)
	事前・事後学習	事前:保険のしくみについておさらいをしておく 事後:居住地の介護保険制度の特徴を調べる
7	授業内容	高齢者に対する法制度③(要介護認定の仕組みとプロセス)
	事前・事後学習	事前:居住地パンフレットの認定の流れを読んでおく 事後:認定の流れを説明できるよう練習する
8	授業内容	高齢者に対する法制度④(居宅サービス、施設サービスの種類)
	事前・事後学習	事前:福祉小六法介護保険法第8条部分を通読しておく 事後:居住地の横出しサービスについて調べておく
9	授業内容	高齢者に対する法制度⑤(介護報酬の概要)
	事前・事後学習	事前:事前配布資料を通読しておく 事後:介護報酬に関する配布プリントに補足を記入しておく
10	授業内容	高齢者に対する法制度⑥(介護保険制度における組織及び団体の役割)
	事前・事後学習	事前:組織及び団体の役割に関する事前配布資料を通読しておく 事後:配布プリントに取り組む
11	授業内容	高齢者に対する法制度⑦(地域包括支援センター)
	事前・事後学習	事前:居住市町村内の地域包括支援センターをすべて調べておく 事後:自身の居住地、担当地域包括支援センターの場所を確認する
12	授業内容	高齢者に対する法制度⑧(老人福祉法の概要)
	事前・事後学習	事前:老人福祉法第1条～5条を通読しておく 事後:介護保険制度と比較し、老人福祉法の特徴をまとめておく。
13	授業内容	高齢者に対する法制度⑨(老人福祉法に基づく措置)
	事前・事後学習	事前:老人福祉法第5条～12条までを通読しておく 事後:措置制度と契約制度の違いを説明できるようにしておく
14	授業内容	高齢者に対する法制度⑩(老人福祉法に基づく支援)
	事前・事後学習	事前:老人福祉法10条の4を通読しておく 事後:配布資料に補足をし、まとめておく
15	授業内容	前期のまとめ
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理し、見直しておく 事後:試験勉強